

令和 6 年 9 月 3 日
障 害 福 祉 部
障 害 保 健 福 祉 課

高次脳機能障害者支援に関する検討状況と試行実施について

1 主旨

令和 6 年 2 月 6 日の福祉保健常任委員会において、高次脳機能障害者支援に関する検討状況について報告したが、この間、課題や取組みについて具体的に整理・検討を進めてきたことから、検討状況と 10 月からの試行実施の内容を報告する。

2 令和 6 年度の検討経過

梅ヶ丘拠点において課題の共通認識を図るとともに拠点としての連携強化を図るため、区・世田谷区保健センター（以下「保健センター」という）及び東京リハビリテーションセンター世田谷（以下「東リハ」という）の三者で、幹部職員による検討会（2 回開催）により課題認識や取組みの方向性を共有するとともに、実務担当者による作業部会（4 回開催）により、現場における支援の課題を検討した。

3 検討に取組んだ課題

（1）梅ヶ丘拠点としての支援

- ・保健センターから東リハの自立訓練へつないだ場合、自立訓練以外の障害福祉サービスを利用していない方や、相談支援事業所を利用しないセルフプランの方などは、自立訓練終了後に支援が途切れてしまう可能性が高い。

（2）保健センターにおける相談支援

- ・当事者の具体的な生活状況やニーズを把握し、生活面や仕事面など課題に適切に対応できるような当事者や家族への継続的な支援（伴走支援）が求められている。
- ・退院して初めて困りごとが生じ、混乱し疲弊する当事者や家族がいることから、退院する前から医療機関と連携した支援が必要である。
- ・高次脳機能障害をどこに相談すればよいかわからないといった声が寄せられている。

（3）地域における相談支援

- ・地域の支援機関の役割が明確になっていないことから十分な連携が図られておらず、特定の支援機関に相談が集中する状況が続いている。
- ・保健センターが実施している「地域研修会」や「関係施設連絡会」について、参加者から趣旨や意図が不明確であるとの意見が出ている。

4 試行実施の具体的な内容

三者による検討会等の議論を踏まえ、10月から以下の内容を試行的に取り組む。

(1) 梅ヶ丘拠点としての連携強化

① 自立訓練終了後の生活を見据えた連携

東リハで自立訓練の利用を終了した後の支援方針等を検討するために開催している「終了前カンファレンス」に保健センターも出席し、当事者や家族等との顔合わせや、訓練後の相談や関係づくりを確実に行う。

② 東リハ施設利用者に対する連携した支援

東リハの施設利用者の中で様々な支援が必要となる困難ケースに対しては、保健センターと一緒に事例検討を行うなど連携した支援を実施する。

③ 保健センターの相談につなげるための取組み

東リハの施設内にて、保健センターによる「出張相談会」を開催し、訓練利用者や家族に対して相談事業をPRし、訓練終了後に保健センターへの相談につなげる。

(2) 保健センターにおける相談支援の充実

① 在宅生活に向けた早期支援の開始

退院後の不安軽減に向けて、入院中から支援者として保健センターが関わられるよう、医療機関への働きかけを強化する。

② 継続支援の実施

個々の状況に応じた適切な支援の組み立てやつなぎを関係機関と連携して行い、支援機関につないだ後も、情報共有するなど支援者としての支援を継続する。

③ 区の相談窓口としての周知の強化

学識経験者、家族会、当事者等の意見を聞きながら、高次脳機能障害支援に特化した相談支援リーフレット等を作成し、家族や関係機関、支援者を中心に保健センターの相談機能の周知の強化を図る。

(3) 地域における相談支援の強化

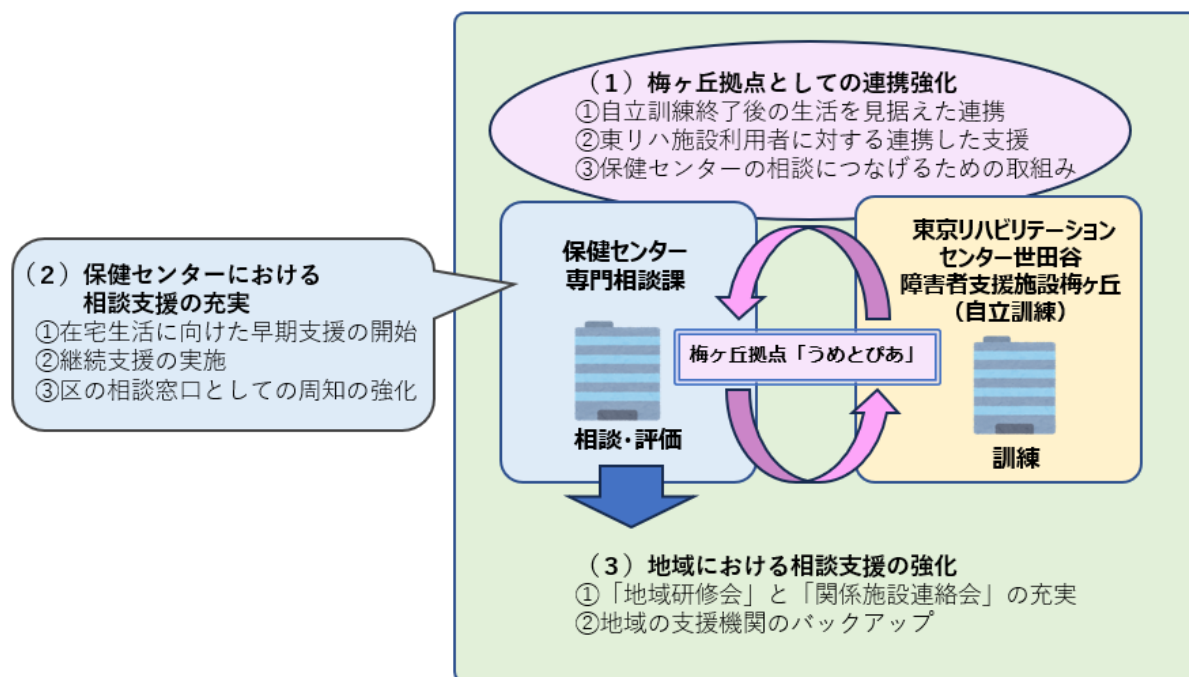
① 「地域研修会」と「関係施設連絡会」の充実

保健センターが中心となって、学識経験者や参加者の意見を参考に会の目的や開催方法などを見直し、地域の支援機関が各々の役割について理解・共有し、役割に応じた支援が提供できるよう、地域の連携を強化する。

② 地域の支援機関のバックアップ

介護や高齢分野など高次脳機能障害者への支援経験やノウハウ等が少ない機関に対し、保健センターの相談員や専門職が助言を行う等、地域の支援機関のバックアップを行う。

※試行実施のイメージ図



5 試行実施期間中の対応

(1) 試行実施した取組みは、対応事例やノウハウを積み重ね、区、保健センター、東リハによる定期的な連絡会を開催するなど評価・検証を行い、より効果的な取組みへ改善するとともに、必要に応じて次年度以降の支援体制を検討していく。

(2) 当事者会や家族会の支援、居場所の確保等の課題については、家族会との共催によるイベントを開催するとともに試行期間中も検討を継続し、課題解決に向けた取組みを適宜実施していく。

6 今後のスケジュール (予定)

令和6年	10月以降	試行実施
令和7年度～8年度		試行実施の評価・検証
令和9年	4月	本格実施